

2018年6月26日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、感動体験型映像空間を開発

「エクスペリエンスウォール」、超高精細映像ソリューションを
大型施設、企業ショールーム向けに販売開始

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子真吾、以下凸版印刷)は、壁一面に超高精細映像を表示して、現実の世界にいるかのように感じられる感動体験型空間ソリューション「エクスペリエンスウォール」の販売を2018年6月から開始します。凸版印刷が持つハード開発、映像コンテンツ制作、空間デザインなどのノウハウを結集した新しい空間ソリューションです。

株式会社タテイシ広美社(広島県府中市)と共同で開発した、世界最高水準の高精細1.5mmピッチのLED(発光ダイオード)ディスプレイに、撮影から編集まで独自に制作した8Kの高精細映像を表示。さらに空間デザインで培ったノウハウで天井、壁面のデザインから施工まで行うことで、フレームのない大画面での没入感のある空間を実現しました。大型施設、駅や空港、企業ショールームなど向けに販売します。

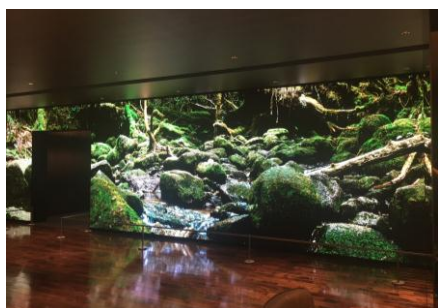
また、2018年6月7日に凸版印刷が新設した地方創生・観光立国の共創拠点「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」(東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル1F/2F)に、エクスペリエンスウォールを設置しています。

■エクスペリエンスウォールについて

1.概要

480mm×270mmのLEDパネルを単位に、パネルを縦横に並べて組み合わせることで自由にサイズを設計できます。パネルの長辺か短辺の一方が接して連結していれば全体の形状も自由で、階段状や壁面の360度外周、内部にパネルがない空白部分なども設計できます。高精細LEDの最大の特長である高輝度でハイコントラスト(明暗の差)な超高精細映像コンテンツに適しています。

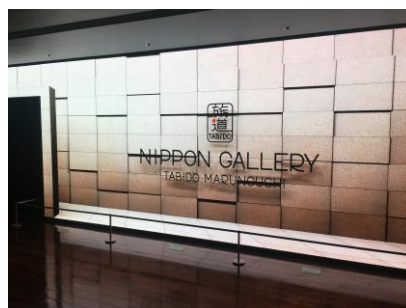
駅や空港など交通施設のメインゲートや、商業施設、テーマパーク等での動画、静止画、CG映像の表示や、プロジェクションマッピングの様なエンターテインメントとしての演出も可能です。さらに、フレームのない大画面に実物大の映像を表示することで、自動車や住宅設備などのバーチャルショールームにも利用できます。



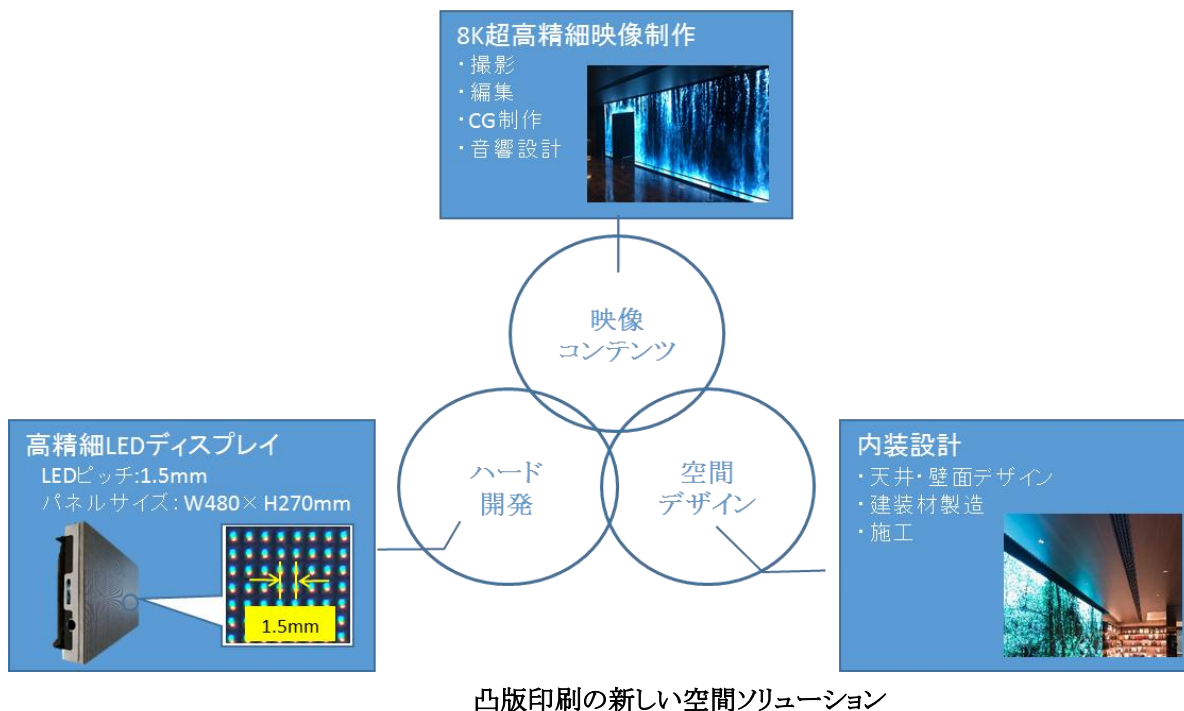
風景「屋久島」(動画、静止画)



風景「滝」(CG)



プロジェクションマッピング(CG)



2.構成(「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」設置機材)

1.5mmピッチLEDパネル178枚(約23㎡)、制御用コンピュータ、4K映像再生装置2台、音響設備

3.価格、期間

導入価格 600万円/㎡～(音響設備、コンテンツ制作費別途)

施工期間(製造期間含む) 約5カ月

4.今後の目標

凸版印刷は本製品を拡販、2020年度に関連受注含め約80億円の売上を目指します。

■タテイシ広美社について

会社名:株式会社タテイシ広美社

所在地:広島県府中市

代表者:立石 良典

設立年:1986年

事業内容:屋外広告業

コーポレートサイト:<http://www.t-kobisha.co.jp/>

* 「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」は完全予約制で凸版印刷お取引先限定でのご案内となります。個人のお客さまや同業他社からのお申込はお断りさせていただく場合があります。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上